

令和8年度第1回三重県総合計画策定推進会議 概要

1 開催日時：令和8年9月29日（火）17時00分から17時10分

2 開催概要：以下のとおり

（楠田政策企画部長）

- ・ 今回の会議では、次期総合計画の主に構成案について説明をさせていただきたい。

（事務局（政策企画部 山崎次長））

- ・ 資料1－1、資料1－2、資料1－2別冊、について説明

（西田地域連携・交通部長）

- ・ これからの県の取組の方向性を決める「将来見通し」と「めざす姿」の内容については、今後どのようにブラッシュアップを行っていくのか。

（事務局）

- ・ 県議会はもとより、市町やパブリックコメントを通じて意見聴取を行いながら、ブラッシュアップしていきたい。

今後、県内外の有識者による会議を立ち上げていきたいと思っているところ。また、庁内でも若手職員によるワーキンググループを立ち上げており、こういったところで若い職員の声も聞きながら進めていきたい。

（松下危機管理統括監）

- ・ これまでの総合計画は、冊子として非常に分厚いもので、当時作られた方は大変苦勞されて作られたと思っている。

現在のような、社会情勢の変化が激しい時代の中では、フレキシブルに考えていくことも非常に大事だと思っている。使い勝手のいい内容のものにしていく方向で進めていくべきだと思うが、そのあたりはどう考えているか。

（事務局）

- ・ 県議会からも同様のご意見を頂戴しているところ。できるだけコンパクトで分かりやすく、一度作ったら硬直化させないようなものにしていきたい。非常に変化の激しい時代であるため、柔軟に対応できるような見直しの方策、仕組みも含めて検討していきたい。

(一見知事)

- ・次期総合計画については、県民にとって分かりやすくすることが重要であり、ボリュームを落とすことや、見せ方も検討する必要がある。
- ・職員の労力も考えて、多くの文字で作る必要はないのではないか。
- ・2040年頃を見据えるに当たっては、三重県を取り巻く環境が大きく変化することをふまえ、特に交通分野では、自動運転、空飛ぶクルマ、物流ドローン、リニア中央新幹線などの進展を見通しながら計画を検討する必要がある。
- ・産業は日本全体で自動車がメインであるが、半導体に大きく舵を切ろうとしているところ。海外の企業との関係も含めて、三重県を半導体クラスターという形に進めていっていただきたい。
- ・現在、外貨獲得は1番が自動車、2番が観光となっている。
残念ながら三重県は観光の外貨獲得が少ないが、今後伸ばしていったって、観光も大きな産業の柱にしてもらいたい。
- ・その他の事項も重要なものばかりであるため、各部局におかれては、将来を見据えてどんな形になっていくのかというのを今後よく議論していただきたい。

(楠田政策企画部長)

- ・県議会はもとより、有識者、若手ワーキンググループ、そして今日いただいた意見を十分勘案して取り組んでいきたい。